

新横浜出張所だより

国土交通省関東地方整備局
京 浜 河 川 事 務 所
新 横 浜 出 張 所 発 行
電 話 0 4 5 - 4 7 6 - 5 0 0 3
2010年08月05日【第 5 号】

鶴見川流域センターの来館者10万人を達成しました

鶴見川流域センターは、水害や震災などの災害時の防災活動拠点として整備され、平成 15 年 9 月の開館以来、鶴見川多目的遊水地を望む学習と流域活動の交流拠点として利用されてきました。利用者は鶴見川流域の学校や団体を中心に年々増加しており、平成 22 年 7 月 21 日に川崎市立西御幸小学校 5 年生の来館により 10 万人を迎えました。

当日はテレビ局や新聞社が取材に訪れた他、地元の市民も駆けつけお祝いムードを盛り上げていました。

セレモニーでは、左側から『流域センター長から認定証の授与』中央が『流域センター応援団団長から記念品の贈呈』右端が『スタッフ有志作成のくす玉割り』の状況です。



10万人目の来館者となった川崎市立西御幸小学校の皆さん



鶴見川のホームレス合同巡視を行いました

港北区・鶴見区を実施 幸区・都筑区はこれから

新横浜出張所では、年に1～2回沿川の自治体の方と河川敷で生活しているホームレスの方を訪ね、生活状況を確認したり、ホームレス自立支援施設への入居を勧めたりする合同巡視を行っています。

今年は、今までに鶴見区（6月30日）港北区（7月15日）の方と合同で巡視を行いました。

こういう取り組み等を行う中で、当出張所管内では、5年前の平成18年度と比較して42名から30名と12名の河川生活者が減っています。

また、当出張所では、独自に毎月ホームレスの実態調査を行っています。



橋の下での調査状況



ホームレスの調査状況

鶴見川多目的遊水地でホタル観察会が行われる



ホタル観察会に集まった方々

7月15日（木）、npoTRネット、連携TRネット、綱島バリケン島プロジェクト主催による『ホタル観察会』が19時30分開始で行われました。流域センターには、18時過ぎから人が集まり始め流域センターを出発するときは、約90名の方が参加していました。

観察場所は鶴見川遊水地内の水路で、鶴見川産のヘイケボタル幼虫を2月と6月に放しましたが、成虫となり飛んでいました。まだ、出始めだったようで10数匹しか見ることが出来ませんでしたが、ホタルを間近で見た子ども達は、大はしゃぎしていました。

あとがき

今月は、鶴見川流域センターに関する記事が多くなりました。

8月9日は、台風が日本に上陸したり、接近したりしやすい時期となります。また、ゲリラ豪雨などの発生もあり、河川の急激な水位上昇なども起きています。

次のアドレスは、携帯電話用ですが、多摩川・鶴見川・相模川の雨量や河川の水位情報が見ることが出来ます。

<http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/m/>

夏休みは、鶴見川を利用される方も多いため、是非ご活用ください。

『新横浜出張所だより』編集長（上林喜美夫）

鶴見川流域センターに年間約16,000人が

7月の来館者数は、小中学校の夏休みの時期のため、自由研究のテーマ探しにと『鶴見川流域センター』を訪れる方も多くなっています。

そこで、流域センターでは、身近な生き物講座（3回）、鶴見川の水質ってなあに？（5回）、流域工作教室（10回）お話し会（3回）と盛りだくさんのイベントも行っていきます。

また、施設を利用しやすくするために、アンケートも行っていきますので、よろしくお願いいたします。

【毎週火曜日が休館日です】

住所 横浜市港北区小机町2081

電話 045-475-1998

（鶴見川流域センター直通）

平成22年7月の来館者数 2,423人